

住信為替ニュース

THE SUMITOMO TRUST & BANKING CO., LTD FX NEWS

第1628号 2002年03月11日(月)

《 clearest evidence of economic recovery 》

アメリカ経済はグリーンズパンが一週間の間隔で行われた議会証言の内容を変えるほどめざましい改善ぶりを示しました。証言内容を変えさせたのは先週取り上げたISM指数などだったのでしょうが、先週出た最も重要な統計は、2月の雇用統計です。FTはこの統計を指して以下のような見出しを付けた。

「US jobs boost is clearest evidence of economic recovery」(雇用統計は、景気回復の最も鮮明な証拠)

雇用統計の発表は通常通り金曜日。その前日、木曜日に議会証言したグリーンズパンがこの統計を知っていたかどうかは知りません。しかし、この証言と統計はぴったり合っている。

雇用統計の内容で特筆に値するのは、非農業部門の就業者数が7ヶ月ぶりに6万6000人の増加になったことです。今までのアメリカ経済は「回復の兆し」と言われながら、言ってみれば「jobless recovery」と言っても良い状況だった。この状況が続くと、消費の息切れが発生する可能性が高い。消費の原資は、収入か資産か借入れですが、大部分の消費者にとっては収入が柱。持続性があるのも、安定した収入です。収入は雇用をもたらす。その意味で、雇用の増加は意味がある。

66000人の増加の中味は、サービス・セクターが97000人の増加で、これは昨年8月以来の大幅増加。小売業界が58000人の増加。対して製造業は5万人の増加となっている。一般的に賃金の高い製造業の職が依然として減少しているのは弱さだが、総雇用の増加はアメリカ経済にとっては朗報である。2月の場合民間被雇用者数は82万1000人も増加して、1億4220万人となった。これは19年ぶりの大幅増加。1月は92万4000人の減少だった。

気の早いアメリカの金融市場で話題に上っているのは、「3月19日の次のFOMCで利上げするのではないか」です。FTにもその議論が載っている。今の米短期金利は4年来の低水準である1.75%。

しかし筆者は、FOMCは最初の利上げは慎重になると考えます。pre-emptivelyに上げるといった意見もありますが、インフレを取り巻く環境は非常に安定している。インフレ

再燃の兆しが少しでもあるのなら別でしょうが、今は景気が W になる危険性も指摘されている。そうした中では、グリーンスパンも利上げには慎重になるでしょう。

政府のデフレ対策の中味がなかったにも関わらず、先週の東京株式市場の株価は大幅に上昇した。空売り規制を株価反騰の要因に上げる声が強いが、筆者はその点でいくつかの追加ポイントを指摘しておきたい。

まず日本に対する見方の変化。例えば・英米系格付け会社フィッチは先週、国債など日本政府が発行・保証する債務について「当面、償還不能になるリスクは小さい」との報告書をまとめ、「日本国債の当面のリスクは誇張されすぎている」とコメントした。

日本の国債の格付けは、ムーディーズなどの各をベースにするともう一段下げるとボツワナと同じになる。ボツワナという国はアフリカ最貧国の一つで、人口の三分の一が HIV/AIDS だと言われている。その国と日本が格付けで同じになるということはない。

フィッチの報告書は、日本の巨額の財政赤字に対して「中長期的にみれば耐え難い水準に達する恐れがある」との懸念を表明しながら、一方で、目先は

- (1) 日本政府による（外貨準備による）十分な流動性確保
- (2) 民間の高い貯蓄率などを背景に、日本の財政が破たんする可能性は限定的

としている。その通りだろう。フィッチは波乱要因になりうる銀行の不良債権問題に関しては「預金流出を原因とする金融危機は考えにくい」との見方を示した。格付け機関の見方も割れてきた。

日本の株式の上昇は、下げ過ぎからの自律反騰の面が強くあると思われる。この反騰が持続するかどうかは、景気の回復が持続性のあるものと判断されるかだろう。機関投資家の投資比率の修正などもあり、当面は日本の株式は堅調に推移する可能性が高いが、重要なのはこの期間も税制改正、規制緩和などで着実に手を打っていくことだろう。

今週の主な予定は以下の通りです。

3月11日(月)	1月機械受注(14:00)
	2月景気ウォッチャー調査
	米1月卸売在庫(24:00)
	米1月シカゴ連銀指数(12日1:00)
3月12日(火)	2月消費者動向調査(13:00)
	10-12月ユーロ圏GDP
	OPEC総会(ウィーン)
3月13日(水)	米2月小売売上(22:30)
3月14日(木)	2月企業倒産(13:30)

米10 - 12月経常収支(22:30)
米1月企業在庫(22:30)
米2月輸出入物価(22:30)
3月15日(金) 1月鉱工業生産改定値・設備稼働率(13:
30)
米2月生産者物価(22:30)
米2月鉱工業生産・設備稼働率(23:15)
米3月ミシガン大学消費者信頼感指数(23:50)
EU首脳会議(バルセロナ~16日)

《 have a nice week 》

週末は暖かった。しかし、何よりも頭痛の種は花粉症です。今朝もひどい。で、ちょっと短めにさせてもらいました。今年は最初軽くて良いと思ったのですが、やはり体調もあるのでしょうか、ここ数日はひどい。

久しぶりに紫蘇ジュースを作りました。作り方は<http://www.ycaster.com/chat/fever.html>に置いてありますが、もともとこれは花粉症の時期になる以前から飲まねばならないもの。効果はどうでしょうか。平年より桜が早く咲くということは、花粉症の花粉が飛ぶのが素早く収束する、ということだとありがたいのですが。

皆さんには、良い一週間をお過ごし下さい。

《当「ニュース」は、住信基礎研究所主席研究員の伊藤(03-5410-7657 E-mail ycaster@gol.com)が作成したものです。許可なき複製、転送、引用はご遠慮下さい。また内容は表記日時に作成された当面の分析・見通しで一つの見方を示したものであり、売買を推奨するものではありません。最終的な判断は、御自身で下されますようお願い申し上げます》